

## 数 学

## 【特に正答率の高かった設問】

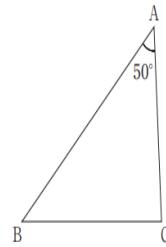
◎思考・判断・表現

筋道を立てて考え、証明することができる。



学習理解を深めるために生徒同士の協働的な学びの機会を増やしてきました。また、授業内容の工夫に加え、定期テストで応用力や思考力を試す問題を配置してきたことで、応用問題への対応力が向上しました。

③ 下の図の△ABCで、頂点Aにおける外角の大きさを求めなさい。



&lt;正解&gt; 130°

図4において、四角形AGCHが平行四辺形になることは、2組の向かい合う辺がそれぞれ平行であることを示すことで証明できます。四角形AGCHが平行四辺形になることを証明しなさい。ただし、四角形FCEAが平行四辺形であることはすでにわかっていることとします。

&lt;正解&gt; 略

## 【課題が見られた設問】

△知識・技能

相対度数の意味を理解している。

△思考・判断・表現

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。



## 【今後の対策】

データの分析や、データから意味を見出して活用する方法を、具体的なデータや事例を通じて繰り返し確認します。これにより、知識として覚えるだけでなく、現実の事象に照らして情報を読み解き、判断する技能の定着を図ります。また、数学コンテストを定期的に実施することで、知識・技能の定着度を客観的に評価し、計画的な復習の機会を提供します。さらに、公式や定理の意味を考えさせる活動も増やしていきます。

⑤ 下の表は、ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表です。

ハンドボール投げの記録	
階級(m)	度数(人)
以上 未満	
5 ~ 10	3
10 ~ 15	8
15 ~ 20	9
20 ~ 25	10
25 ~ 30	6
30 ~ 35	3
35 ~ 40	1
合計	40

20m以上 25m未満の階級の相対度数を求めなさい。

&lt;正解&gt; 0.25

(2) 歩夢さんがさらに調べると、新しい駅はA駅から60.0kmの地点につくられることがわかりました。そこで、A駅から新しい駅までの運賃がおよそ何円になるかを予測することにしました。

A駅から新しい駅までの運賃を予測するために、前ページのA駅からの走行距離と運賃のグラフにおいて、原点にある点Aから点Eまでの点が一直線上にあるとして考えることにしました。

このとき、A駅から新しい駅までの運賃はおよそ何円になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に運賃がおよそ何円になるかを求める必要はありません。

&lt;正解&gt; 略